

第18号 平成30年4月

東京都がん検診センター
医療連携 都がん便り

公益財団法人 東京都保健医療公社
東京都がん検診センター
所在地 〒183-0042 府中市武蔵台2-9-2
TEL 042-327-0201 (代表)
<http://www.tokyo-cdc.jp>



就任のご挨拶

平成30年4月1日付で新所長が就任いたしました。

所長 阿部 和也



4月1日をもちまして、多摩総合医療センターから異動し、東京都がん検診センター所長に就任いたしました阿部和也と申します。

今まではがんの治療に従事してまいりましたが、がんが進行する前に見つける検診に大きな意義を感じております。皆さまのお役に立てるよう精いっぱい務めさせていただきますので、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

ご承知のとおり、当センターは胃がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん、肺がんの、いわゆる5大がんについて検診と精密検査をおこなっています。胃がん、大腸がんには1日で両方の検査をおこなえるコースの設置ばかりでなく、内視鏡下の治療もおこなっており、非常に多くの実績があります。乳がんについてはマンモグラフィ検査やマンモトーム生検で高い精度の検診を実施しています。また今年はCT、マンモグラフィの更新もおこないます。より短時間で、より精度の高い検査結果をお届けできるようになるばかりでなく、大腸検査であるCTコロノグラフィーも充実され、受診される方々の負担がより少なくなります。

当センターは、地域がん診療連携拠点病院である多摩総合医療センターと密接に連携し、がんの早期発見から治療まで、切れ目のないがん診療を提供しています。どうか医療機関の皆さまにおかれましては二次検診への積極的なご紹介をお願いいたします。

新任医師の紹介

春陽麗和の好季節となりました。いつも大切な患者様を御紹介頂き誠にありがとうございます。本年4月から副所長を拝命いたしました入口でございます。

昨年度は、消化器内科スタッフの減少に伴い、迅速な検査ができなくなり大変ご迷惑をおかけいたしました。しかし、4月から佐久医療センター内視鏡内科から依光先生、熊本大学消化器内科から園田先生の実力のある2人の常勤医師を迎え、以前にも増して強力な診療体制を構築できるようになりました。スタッフ全員で、これまで以上に、迅速・安全で高精度の検査・治療を優しい心で提供できますように精進して参ります。今後とも、ご指導の程、何卒よろしくお願いいたします。



副所長（消化器内科） 入口 陽介

消化器内科

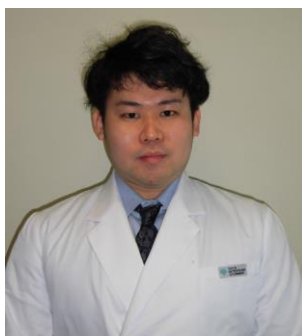


よりみつ のぶかず
医員 依光 展和

【卒業年次】 平成17年 自治医科大学卒業

【専門分野】 内視鏡による消化管腫瘍の診断と治療

佐久医療センター内視鏡内科より赴任致しました。へき地診療所から、内視鏡治療のHigh Volume Centerまで、幅広い医療機関での経験を生かし、丁寧に診療して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。



そのだ たかよし
医員 園田 隆賀

【卒業年次】 平成23年 佐賀大学卒業

【専門分野】 消化器内科、消化器内視鏡

消化器内科医員として着任いたしました園田隆賀と申します。消化器内科医として熊本赤十字病院、熊本大学附属病院で勤務しておりました。消化器がんの早期発見、治療に少しでも貢献できるよう努力致しますので、ご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い致します。

よろしくお願いたします！！



市民公開講座を開催しました



平成 30 年 3 月 13 日 (火) の午後 2 時から 4 時まで、東京都がん検診センター主催の市民公開講座「がん検診の実際とその必要性 ～胃がん、大腸がん、肺がんについて～」を開催しました。昔は「がんは不治の病」と言われていましたが、今や早期発見して治す時代です。しかし残念ながら、日本のがん検診受診率は伸び悩んでいるのが現状です。本講座では、笹野呼吸器内科部長から肺がん検診の方法や精密検査の流れについて、楠木臨床検査技師から喀痰細胞診の正しい検査方法について、入口副所長から胃・大腸がん検診の方法や内視鏡治療について、スライドや動画を使用してわかりやすく説明しました。

当日は多摩地域を中心に 49 名の方が参加されました。参加された方からは「定期的ながん検診の重要性がよく理解できました」「検診方法、精密検査の内容などが詳しくわかり、安心して受診できると思いました」「さっそく検診を受けようと思います」といったご意見を多数いただきました。

国や東京都はがん検診の受診率 50%、精密検査受診率 90%を目標としていますが、未だ目標に達していません。東京都がん検診センターでは、がん検診の普及啓発のためこれからもイベントや公開講座を実施していきます。



〔当センター 3 階講堂にて開催〕

取得しました！

下部消化管(注腸)認定

診療放射線技師

平成 26 年 6 月 18 日に成立した診療放射線技師法の一部改正により、「下部消化管検査に際して、カテーテル挿入部(肛門)を確認の上、肛門よりカテーテルを挿入すること。肛門より挿入したカテーテルより造影剤及び空気の注入を行うこと」の行為が検査に関連する行為として、診療放射線技師の業務範囲に加わりました。

それに伴い、消化管に関する幅広い知識および優れた技術を有する診療放射線技術に認定が与えられることとなりました。

当科の萩原技師が第一回の認定試験を受験し合格いたしました。

下部消化管認定診療放射線技師として消化管検査の質の向上、医療安全の確保に努めてまいります。

マンモグラフィ施設認定

◎マンモグラフィ検診施設認定とは…

特定非営利活動法人日本乳がん検診精度管理中央機構により、診断機器や画質の評価を行い、乳がん検診実施機関として基準を満たしている施設であると認定しているものです。

当センターは、施設内、検診車と複数台のマンモグラフィ装置を所有しており装置ごとに認定取得・更新しております。

今後も安心安全の乳がん検診実施のため、精度維持、向上に努めてまいります。



放射線科技師長 井手 朋恵

医療連携室のご案内

当センターでは、地域医療機関との連携を密にし、地域に根ざした、より効果的なサービスの提供を目指しております。特に、検診結果にて要精密検査を指示された方や、症状のある方等に対して、短期間に確定診断を行い、早期治療に結びつけることは当センターの重要な役割と考えております。

医療連携室では保健師を配置し、予約にあたって細やかな対応と調整に努めております。

ご予約の方法



紹介元の先生から直接連絡をくださる場合

医療連携室にFAXまたは電話にて予約をお取りください。

FAX/電話番号 042-326-9333
月～金曜日 受付時間 9:00から17:00まで

予約の確定は、折り返しFAXまたはお電話いたしますので、患者さんに予約日時等をお伝えください。



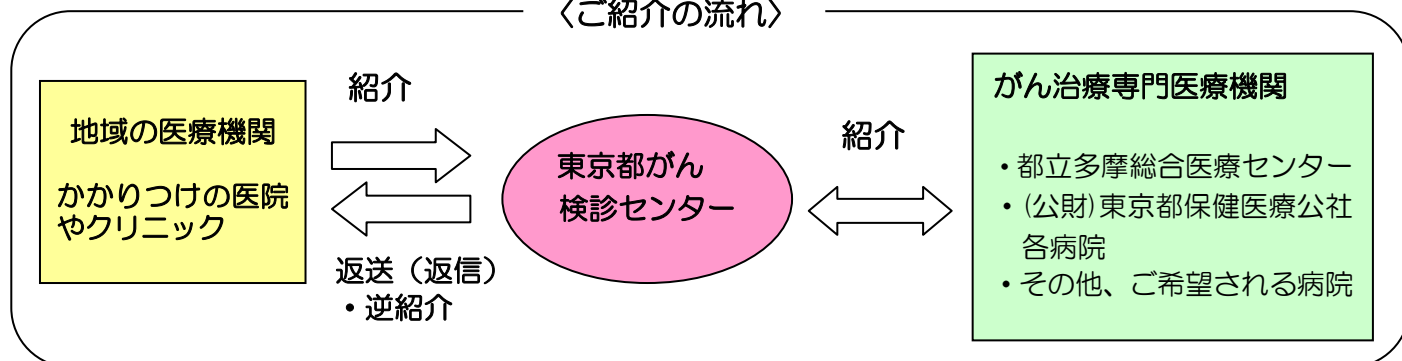
患者さんが、ご自分で予約を取る場合

患者さんに「診療情報提供書（紹介状）」をお渡しください。
患者さんご本人より代表電話に電話をかけ、「医療連携室」までご連絡ください。

電話（代表） 042-327-0201
月～金曜日 受付時間 9:00から17:00まで

※土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日から1月3日まで)はお休みとさせていただきます。

〈ご紹介の流れ〉



《医療連携「都がん便り」に関するお問い合わせ》

医療連携室（保健指導係） 担当：丹羽、横山、蒲野
電話番号 042-327-0201（代表）内線 2217
FAX 042-326-9333（医療連携室直通）

